

世界最大の野外オルガン クーフシュタイン城のヘルデンオーゲル（英雄オルガン）について

クーフシュタイン城の野外オルガンは、世界最大といわれています。オルガンのパイプが城の塔に設置されたのは、1931年のことです。

オルガンはもともと2段の手鍵盤を配置したもので、ストップの数は26、パイプ数は1813本でしたが、1971年の改修の際に4段手鍵盤の46ストップとなり、パイプも4307本に増やされました。

2009年にはさらに大々的な改修が行われ、最新技術も取り入れられました。今やオルガンのストップ数は65、パイプ数は4948本に増え、18の鐘を持つチューブラーベル（チャイム）を装備しているのも特徴です。

オルガンのパイプはちょうど塔の屋根の下に設置されており、しかもオルガンの風圧も高いため、その音色は北東方面に向かって実に遠くまで響きわたります。風の状態によっては、10キロ先のお隣のドイツ・バイエルン地方や、アルプスの高峰ヴィルダーカイザー山脈までオルガンの演奏が聞こえることがあります。音が最もバランスよく、美しく聞こえる場所は、もちろん城館の鑑賞ホールです。ここでは2009年の改修以降、オルガン奏者が演奏する様子も見られるようになりました。

野外オルガンは気温や湿度などの影響を受けやすく、パイプの音色もそれによって大きく左右されます。英雄オルガンの場合、城館の演奏台での鍵盤の操作は、最新技術を用いた電動システムでパイプに伝えられています。演奏台とパイプ群は約100メートルのガラスファイバーケーブルでつながっていますが、オルガンの音色はスピーカーなしで十分に聞こえます。風圧が通常の教会オルガンの10倍にも達するからです。

オルガン奏者にとって、この野外オルガンを弾くのは大変難しいそうです。演奏台が城館にあるため、弾いた音が3分の1秒も遅れて聞こえるからです。しかも、弾けば音が街中に響いてしまうせいで、このオルガンでは練習ができません。

ここはビジターの皆様にとっての静寂の場所、めまぐるしく変化する現代の多忙な日常を忘れ、しばし瞑想にふけていただくための場所です。そもそもこのオルガンは、第一次世界大戦の戦没者を追悼して設置されたものです。今日、私たちは戦争やあらゆる暴力の被害者となった方々に毎日の演奏を捧げ、平和と民族融和の記念碑としてオルガンを大切にしています。

コンサートでは最後に必ず「良き仲間の歌（Das Lied vom Guten Kameraden）」が演奏され、オルガンは美しく響きわたる生きた記念碑としての本来の役割を果たしています。演奏は従来のコンサートの概念を超えた、静かな哀悼の意を表するものですので、演奏中はどうか静粛に願います。

コンサートについて

英雄オルガンのコンサートは、毎日午後12時頃、または聖ヴィトゥス教会の正午の鐘が鳴り終わってから始まります。オルガン奏者が前もってオルガンに関する簡単な説明と演目の紹介をする場合もあります。演奏時間は約10分～15分です。

コンサート料金は、クーフシュタイン城の入場料に含まれています。

英雄オルガンコンサートのチケットを単独で購入された場合、城内への入場券をお求めの際にコンサート料金が払い戻しとなります。なお、払い戻しができるのは当日のみです。

演奏中は、パノラマ列車「皇帝マクシミリアン号」は運行を一時休止します。

英雄オルガンのCD クーフシュタイン城のチケット売り場とショップで、2005年のサマーコンサートのライブ（演奏 ヘルムート・ルクシュ）を収録したCDをお求めいただけます。

くわしくはホームページ <http://www.festung.kufstein.at/heldenorgel.html> をご覧ください。

（2009年現在）